Japan Society on Water Environment

水環境企業・研究機関情報誌

2024年1月

公益社団法人日本水環境学会

水環境企業・研究機関情報誌 2024 の文章・画像等の無断転載は禁止いたします

目　次

contents

2024 年　水環境企業・研究機関情報誌の発刊について
公益社団法人日本水環境学会　会長　池　道彦…… 1
企業・研究機関情報①　株式会社NJS …… 2
企業・研究機関情報②　水 ing株式会社 …… 4
企業・研究機関情報③　メタウォーター株式会社…… 6
企業・研究機関情報④　いであ株式会社…… 8
企業・研究機関情報⑤　オリジナル設計株式会社…… 9
企業・研究機関情報⑥　オルガノ株式会社…… 10
企業・研究機関情報⑦　三機工業株式会社…… 11
企業・研究機関情報⑧　株式会社神鋼環境ソリューション…… 12
企業・研究機関情報⑨　水道機工株式会社…… 13
企業・研究機関情報⑩　セントラル科学株式会社…… 14
企業・研究機関情報⑪　株式会社ダイキアクシス…… 15
企業・研究機関情報⑫　株式会社中央設計技術研究所…… 16
企業・研究機関情報⑬　株式会社千代田コンサルタント…… 17
企業・研究機関情報⑭　月島 JFE アクアソリューション株式会社 …… 18
企業・研究機関情報⑮　月島ジェイテクノメンテサービス株式会社…… 19
企業・研究機関情報⑯　内藤環境管理株式会社…… 20
企業・研究機関情報⑰　株式会社日水コン…… 21
企業・研究機関情報⑱　地方共同法人日本下水道事業団…… 22
企業・研究機関情報⑲　日本水工設計株式会社…… 23
企業・研究機関情報⑳　日立造船株式会社…… 24
企業・研究機関情報㉑　株式会社日立プラントサービス…… 25
企業・研究機関情報㉒　株式会社フソウ…… 26
企業・研究機関情報㉓　株式会社明電舎…… 27
企業・研究機関情報㉔　前澤工業株式会社…… 28
企業・研究機関情報㉕　株式会社前澤エンジニアリングサービス…… 29
日本水環境学会年会における学生会員向けの企画について
公益社団法人日本水環境学会　産官学協力委員会…… 30
公益社団法人日本水環境学会　団体会員…… 32
公益社団法人日本水環境学会について…… 33

転載禁止

2024年　水環境企業･研究機関情報誌の発刊について

公益社団法人　日本水環境学会
会長　池　道彦

水資源の持続的利用は、人類にとって最も重要かつ喫緊の課題の一つとなっています。また、水の利用のためのみならず、生物多様性を維持したり、地球温暖化の進行を食い止めるという観点からも、健全な水環境を守っていくことの重要性が強調されています。さらには、Water − Energy − Food Nexus の概念に代表されるように、水を水としてのみでなく、エネルギーや栄養塩をはじめとする物質資源のキャリアとして捉えることで、脱炭素や循環型社会に役立てることも、極めて重要であると認識されてきています。

以上のような課題を解決するためには、水や水環境を深いレベルで理解するための研究･調査や、その持続利用に資する技術開発、それらの知識の実践・技術の実装が必要といえます。日本水環境学会では、産官学の各セクターの研究者・技術者が、このような水を巡る社会問題の解決に向けて取り組みを行っていますが、真に水・水環境のサステイナビリティを実現するためには、次世代を担う学生会員の皆様が、本分野で活躍していただけることが不可欠であると考えています。

そこで、当会の学生会員の皆様が、将来の活躍の場をイメージし、自らのキャリアビジョンを構築・具体化していくための一助となるべく、水環境に関わる様々な業界の仕事の内容や魅力、個別企業の業務内容に関する情報を取りまとめた本誌を発刊しました。本誌を通じ、学生会員の皆様が、社会が求めている水環境に係る研究や技術と、それを生み出している科学者・技術者の世界を知る機会を得て、将来は、水環境分野の仕事に携わり、この分野のさらなる発展を通じて社会に貢献していただけることを期待しています。

2024 年 1 月吉日

転載禁止

株式会社 NJS

日本で最も歴史のある「水のコンサルタント」です。

NJS は戦後の復興期である 1951 年に上下水道の技術者を養成する私塾として創業して以来、上下水道の事業計画や施設設計を提案している「水コンサルタント」のリーディングカンパニーです。

創業以来、生活に欠かせない安全な水を供給するために、また、良好な水環境を創造するために、全国の上下水道施設を設計することにより国土の成長を支えてきました。また、高度経済成長期には、社会的な問題であった公害問題に対して、水処理や水質の専門家として日本中の公共用水域の水質保全に貢献してきました。

上下水道インフラの新たな課題

現在、国内の上下水道インフラは既に高度に整備されています。「水コンサルタント」の役割は終わったのでしょうか？いいえ、高度経済成長期に整備された多くの施設が耐用年数を迎えているほか、少子高齢化の影響を受けて地方自治体の人材不足や財源不足が深刻化しています。また、社会の変化に伴う新たな環境ニーズへの対応が急がれています。さらに、地球温暖化の影響や巨大地震・津波の発生をうけて、災害対策も急務とされています。そして、課題は国内のみならず、世界の上下水道未普及地域の生活および環境改善も求められています。このように、水インフラは多くの課題を有しています。

NJS は、「水と環境の Consulting & Software」を掲げ、得意分野である上下水道の計画・設計のノウハウをさらに発展させ、上下水道のライフサイクルを通した効率的な管理運営を実現するコンサルティングとソフトウェアサービスを提供しています。

課題に対する NJS の取組の一例

【上下水道における省エネルギー対策】

上下水道施設は、機械・電気設備が多用されており、エネルギー消費産業の性格を有しています。施設の省エネルギーを推進するために高効率な電動機・インバータ装置・変圧器など機器の導入や効率的な水運用などのマネジメントの工夫が考えられます。さらに、小規模水力発電や太陽光発電などの新エネルギー導入も有効です。

NJS では省エネルギー、新エネルギーの設備の導入計画策定や施設の設計を行い、地球温暖化防止に貢献する上下水道システムの構築を支援しています。

【廃棄物処理基本計画策定】

循環型社会の実現に向けて、ごみ、し尿・汚泥、排水・汚水等について地域に最適な 3R（Reduce、Reuse、Recycle）と適正処理の総合的な計画を策定します。さらに、エネルギー利用や、廃棄物処理施設以外との連携等も考慮した計画策定支援を行います。そして、今後重要となる廃棄物部門の会計管理など事業運営の分析・計画作成も提案します。

【環境影響評価】

下水処理場やごみ焼却施設等は、生活環境の向上や公衆衛生の確保のために建設されるものですが、周辺環境へ影響が生じる場合も考えられます。そこで、環境への影響を事前に予測・評価し、安全・安心を担保するための支援を行います。

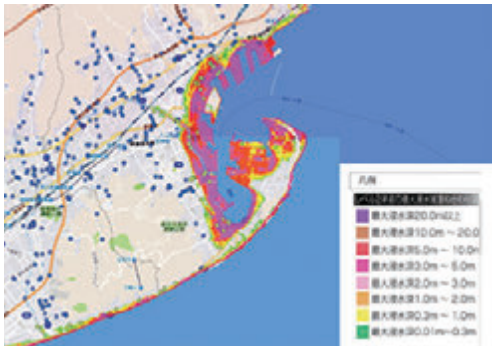
転載禁止

【再生可能エネルギー地産地消計画策定】

バイオマスや太陽光等の再生可能エネルギーは地域に存在するクリーンなエネルギーです。NJS では地域の再生可能エネルギー賦存量・利用可能量とエネルギー需要量の両者の変動を把握し、地域のエネルギーロードマップに応じた需給バランスの取れた再生可能エネルギー地産地消計画の策定を行います。

【災害対策】

地震や豪雨による災害リスクが高まっています。施設の増強による防災対策のほか、被害の軽減を図る減災対策やソフト対策を進める必要があります。NJS は、上下水道施設を中心とした地震、浸水、津波対策の策定や ICT と浸水シミュレーション技術を活用したリアルタイム浸水対策システムを提供しています。



津波浸水予測

リアルタイム浸水危険度推定

水インフラの問題解決のプロとして成長してみたい方へ

NJS はもともと水インフラ設計技術者の育成を目的に生まれた会社です。人材育成に関しては大きな自負があります。

より「高い」技術を、という点では教育環境の充実に力を入れています。当社独自の NJS-OJT システムや技術研修、技術士資格取得支援、そして海外研修を準備しています。また、より「確実に」という点では、新入社員には「どんな風に技術を習うべきか」、指導役の社員には「どんな風に指導すべきか」といった教育にも注力しています。加えて、多様な働き方の実現する制度として 70 歳定年制、フレックスタイム制、在宅勤務制度や働きがいが持てるような公平かつ透明な人事制度があります。「長くモチベーションを保ち続けられる」ことが目的です。

働きやすい環境を整備していますが、最後は自身で段階ごとの「壁」を越えていくことが必要です。最後までやり切る力が一番大切だと思います。初めから完璧を目指し時間をかけすぎてしまうよりは、できる範囲でどんどん進めていくことが大切です。

コンサルタントの事業領域は、時代の要請に合わせて常に広がります。

技術力で水環境の問題解決したい、新しいことに挑戦したい、NJS にはそれを実現できる環境があり、応援する仲間もいます。

NJS は若い方のエネルギーを求めています。

株式会社 NJS

■問い合せ先
株式会社 NJS　管理本部　人事総務部　採用担当
TEL：03-6324-4362　E-mail：saiyo@njs.co.jp

採用情報はこちらから！
エントリー受付中です。

転載禁止

水 ing 株式会社

生命の源である「水」を通じていつまでも社会に貢献し続ける

○ミッション／社会的使命

水から持続可能な社会を実現し自ら新時代を切り拓く

○公共水インフラ施設や民間施設など、水に関わる様々な分野で活躍

水 ing には EPC（設計･調達･建設）、研究開発から、O & M（運転･維持管理、メンテナンス）、薬品製造・販売に至るまで、80 年以上にわたる多くの実績と信頼される確かな技術力があります。これからもこの技術力と発想力で、循環型システムの構築や街づくりなどを通じて社会に貢献していきます。

株主は三菱商事、荏原製作所、日揮ホールディングス。業界№1の『総合水事業会社』に向けた体制を築いています。

○公共水インフラ持続のために、新たな取り組みに挑戦

我が国は 100 年に以上かけ、世界でも有数の水インフラを築き上げてきましたが、「施設の老朽化」「人口減少」「財政難」「異常気象による災害対応」などにより、このままではその持続も困難になると予測されています。特に地方都市ではその対応が急がれていますが、当社グループでは、これまでに民間主導型の公民連携水道事業運営会社の「水みらい広島」や「水みらい小諸」などを設立し、官民連携による新しい事業運営に挑戦してきました。今後も全国に 300 か所を超える当社グループ受託の維持管理現場の様々なデータや指標を活用した AI・IoT 技術と、長年の水処理施設建設やその維持管理で培った水処理エンジニアリング技術を掛け合わせた新しいシステムの開発を行いつつ、地方自治体との災害協定締結などを基軸に、顧客や地域に寄り添った新しい維持管理運営体制の提案で、水インフラ持続のために貢献し続けます。

○ 30 年後の社会に向け、水インフラ施設の更新や維持管理、新たなサービスの提供から、街づくりまでを担うプロ集団へ変革

2020 年度より、30 年後の社会をイメージした「水 ing360°」をビジョンに掲げた中期経営計画「水 ing2022」がスタートしました。これは 2050 年に当社グループが様々なステークホルダーと連携し、水を起点にした循環（360°）型社会を形成する、つまり「上下水道というインフラがなければ街は消滅してしまう、だからこそ水を中心とした新たな街づくりに貢献しよう」というものです。

この実現のためになによりも大切なのが、当社グループの最大の資産である「人」の育成です。内定期間中の課題提出に始まり、入社後約３か月の集合研修、配属後の OJT 制度やフォロー研修・面談、メンター制度、キャリア支援などで、社員の能力や知識の底上げを図っています。

水や環境にかかわるインフラ施設の更新・維持管理やサービスの提供、そしてその先の街づくりまで、熱い想いを持つ社員たちが社会貢献を実感しながら様々なスキルも取得し活躍できる会社、それが水 ing です。

転載禁止

水 ing エンジニアリング株式会社
エンジニアリング事業本部
PE 技術第一統括部　第一統括 PE 技術一部
落合 洸介

現在の仕事は、主には浄水場の更新に関する設計業務です。お客さんの話を聞き、計画を立てて、老朽化した設備の更新が着実に進んで行くことにやりがいを感じています。実際に、自分が設計して出したコストで仕事が受注できたときはうれしかったです。

水に関する仕事に就こうと思うようになったきっかけは、大学で水の研究室に入ったことです。大学では浄水膜の洗浄に関する研究を学びました。そこで浄水技術に関する知識の他にも、研究背景として日本の水インフラが抱える課題を知ることができました。また、日々試行錯誤して研究活動をする中で、諦めずに物事に取り組むことの大切さを学びました。

水 ing を希望した理由は、インターンに参加した際に、上司や先輩社員の方々がとても真剣に仕事を教えてくれたこと、熱心かつ温かい人が多くいることに魅力を感じたからです。実際に入社して、日々の仕事が実際に水インフラを支えていることを実感できています。

今後の目標はまずは一人前の技術者になり、そのうえで自分の意見や発想でより良い浄水設備を提案できるようになることです。

就活生の皆さんには、「貴重な学生の時間を大切にして、目の前の研究に一生懸命打ち込んで欲しい」と思います。研究活動を通して学んだことは、会社でも必ず活かせます。

水 ing 株式会社
企画開発本部　開発統括部
RDC 産業インフラ技術開発部
古幡　真祐子

微生物と環境に興味があり、学生時代は応用生物科学科で微生物を利用した排水処理について学びました。分析や実験装置のメンテナンスを継続することの大切さを知ることができました。

大学時代に教授から「将来曝気の必要がない下水処理場をつくれる」と聞いて、実際に携わりたいと思いました。入社してからは上水や民間工場の純水製造を研究する部署に配属され、それぞれ学びながら業務にあたっている最中です。水を無駄なく低コスト低負荷で循環させて、地域または工場の方々にとって扱いやすく、歓迎されるシステムを作りたいという夢は変わっていません。

現在は、純水装置に関わる活性炭やイオン交換樹脂の吸着性能について、研究及びシミュレーションの検討を行っています。得られたデータを利用して装置の効率化が図れたことが、社内で評価していただけました。そのときは頑張って良かったと感じました。

入社して特に嬉しかったことは、活性炭の新しい性能評価手法を確立できたことです。その確立で、シミュレーションを作成することができ、設計の根拠を新しく築くことができました。また、分析方法を用いて実験を行うことで、原因不明の性能低下があった純水装置の問題を、設計担当者と二人三脚で解決に導けたことが嬉しかったです。

今後の抱負は、研究を継続し吸着材に関する知見を深め、社内の中で頼れる専門家になることです。

我が社はこれから成長していくことを大前提に、今後も様々な社会問題の解決に取り組んでいきます。その中で、今後入社してくる皆さんと一緒に頑張っていけたら、人としても企業としてもより発展していくと考えています。

水 ing 株式会社

■問い合せ先
採用・研修部
TEL：03-4346-0603
E-mail：saiyo@swing-w.com

転載禁止

メタウォーター株式会社

会社紹介

メタウォーター株式会社は 2008 年 4 月に、日本で最初の水・環境分野における総合エンジニアリング企業として設立しました。以来、人々の生活や産業になくてはならない「水」に携わる企業として、機械技術、電気技術、ICT、AI、プラントの運転・維持管理ノウハウを融合し、国内外の上下水道、資源リサイクルの各分野で事業を展開するとともに、環境保全や地域貢献の取り組みを進めています。

また、長期ビジョンとして

- ◆「一緒に仕事をしたい会社 No.1」
- ◆「技術・サービスで No.1」
- ◆「働きたい会社 No.1」

を掲げ、世界の水環境の改善・持続に貢献できる企業を目指します。

メタウォーターは、水・環境インフラの仕組みや水・資源の大切さなどについて、楽しく学べるサイト「メタウォーターランド」を提供しています。

先輩社員の声

■水業界の社会的な重要性に魅力を感じ、“雰囲気が自分に合う”メタウォーターに入社

土木工学を専攻していた大学院時代に、プラント系の企業と産学連携の共同研究をする機会があったことから、「インフラの仕事に携わりたい」と漠然と考えるようになりました。

就職活動では鉄道や鉄鋼などの業界も候補でしたが、水業界の社会的な重要性に魅力を感じ、機械と電気の技術を併せ持つメタウォーターに興味を持ちました。入社の決め手は、先輩社員から「異分野の人材が集まり、1 つのプロジェクトに向けて協力し合っている」という話を聞き、「雰囲気が自分に合いそうだ」と思ったことです。

プラント建設本部
土木建築部
藤本　拓史 さん
（九州大学 工学部 修士課程卒）

■メタウォーターは、若手の意見もきちんと聞いてくれる“風通しが良い”会社

当社は、社員を大事にする会社だと思います。人が資本のエンジニアリング力で成り立っているため、人事や社内制度からも、その姿勢を感じます。フレックスやテレワークの制度、タブレットなどの備品支給なども、もちろん整備されています。

また当社の職場環境は「風通しがとても良い」と思います。学生時代の同期から他社の話を聞いても、それを実感します。人事部門も若手の気付きや意見もきちんと聞いて、各種施策にフィードバックしてくれます。会社として「より働きやすく、より効率的に」という雰囲気がありますね。

■プラントにおける土木・建築の設計・積算・建設・維持管理に一貫して関われるのが魅力

私が所属する土木建築部は、土木と建築の設計業務を行う部署ですが、お客さまへの提案から、工事金額の積算、設計会社との協議、施工会社への現場指示、現場トラブルの対応まで、実は設計以外の業務の方が多いです。いわば「土木・建築に関する何でも屋」ですね。プラントにおける土木・建築をトータルで担い、設計・積算・建設・維持管理に一貫して関わることができる点に魅力を感じます。

転載禁止

■ PPP 案件にて、初めてプロジェクトマネージャー業務を担当

最近は、PPP* 案件における土木建築の提案・設計業務が多くなっています。現在の担当も「荒尾市水道事業包括委託」という PPP の大規模な更新工事に携わり、初めてプロジェクトマネージャー（PM）業務に従事しています。全てが手探り状態ですが、試行錯誤しながら進めています。

* Public Private Partnership：公民連携

■設計ミスによる失敗から、正確な設計と、人とのつながりの大切さを学ぶ

今でも忘れられない失敗があります。入社 3 年目のことです。ある設備を支える架台を設計したのですが、現場で組み立てる段階になって特定のボルトが足りないトラブルが発生しました。原因は、図面のボルト本数を私が誤記してしまったことです。間が悪いことに全国的に鉄鋼が不足しており、急いで発注しても納品が間に合いません。とにかく現場と事務所を往復して状況を把握し、他の現場で余っているボルトを融通してもらうことで、何とか工期内に納めることができました。しかし余計な時間やコストを要し、現場にも多大な迷惑をかけてしまいました。

この失敗から学んだことは、最初の設計が正確でないと現場が動けなくなってしまうということです。また、社員と協力会社の方々にも助けていただき、人とのつながりと協力体制の大切さも痛感しました。

■社員が自主性と俯瞰的な視野を持ち“合理的な結論”に至る、一体感ある仕事にやりがい

当社は柔軟な社員が多い印象です。機械と電気、土木建築の設計担当が関わる現場でトラブルが発生したら、総力で解決しなくてはなりません。このような時、当社の各担当者はプロジェクト全体にとって、お客さまにとって「どの部門が、どのように対応するのが最も合理的か」を第一に議論し、対応すべき部門から自主的に“挙手”するケースが多いです。各担当者が俯瞰的な視野で「何が正解か」という意識を持ち、その現場に応じた“合理的な結論”に落ち着きます。この一体感ある仕事のやり方は、私に合っているし、やりがいを感じます。

■自治体の課題や悩みに寄り添い、効率よく解決する提案・設計ができる技術者になりたい

お客さま（自治体）との距離が近い PPP 案件に携わり、施設の老朽化や人材不足など、自治体が抱える課題を肌で感じます。その悩みに寄り添い、効率よく解決する提案・設計ができる技術者になりたいと考えています。

当社には、数々の PPP 事業を通じて、自治体と共に上下水道施設の維持管理・運営をしてきた実績があります。そこで得たデータを集約し、設計にフィードバックするシステムを構築できれば、自治体の課題を解決できるはずです。その実現には、設計・計画部門と維持管理・運営部門の協力体制が必要です。そのために、私は土木建築部門と他部門をつなぐ“橋渡し役”になりたいと思っています。

現地調査の様子

■就職活動は自分を見つめ直せる機会、「自分にとって何が一番大切か」を見つけてほしい

就職活動では、業界や会社の選択に悩むことが多いと思いますが、自分を見つめ直せる機会でもあるので、「自分にとって何が一番大切か」を見つけてほしいです。それは「業務」「やりがい」「勤務地」「給与」「労働環境」など、人それぞれでしょう。一部の意見にとらわれず、いろいろな会社の社員の方に話を聞き、自分なりに咀嚼して見つけてください。

METAWATER
続ける。続くために。

■問い合せ先
メタウォーター株式会社　採用担当
TEL：03-6853-7327
E-mail：saiyou@metawater.co.jp

転載禁止

いであ株式会社

“暮らしと環境を支える” いであのサービス

当社は、安全・安心で快適な社会の持続的発展と、健全で恵み豊かな環境の保全と継承を支えることを通じて、自然と社会が調和した新しい未来の実現に貢献しています。

皆さんも「いであ」の一員として社会課題の解決に取り組んでみませんか？

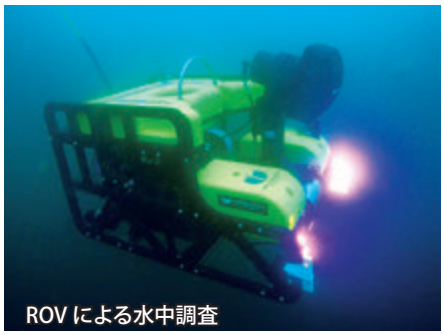
“安全・安心で快適な社会を支える”

社会インフラの老朽化や、近年頻発する自然災害への対応など、社会基盤整備においては、真の安全・安心な社会の構築に向けた取り組みが求められています。当社は、社会基盤整備において、計画・調査から、設計、対策、維持管理を行い、安全･安心で快適な社会の実現に向けて取り組んでいます。

親水公園の計画・設計

“健全で恵み豊かな環境の保全や継承を支える”

近年、従来の環境問題に加え、地球温暖化、生物多様性の減少や、マイクロプラスチックによる海洋汚染、新たな化学物質問題など、環境問題はますます複雑・多様化し、グローバル化しています。当社は、わが国の環境コンサルタントのリーディングカンパニーとして、企画・調査から対策立案までを一貫して行い、さまざまな環境問題の課題解決に取り組んでいます。


ROV による水中調査

“人々の健康や暮らしを支える”

当社は民間初の気象予報会社として、気象予報や防災情報、健康予報など、気象関連情報を提供し、人々の健康や暮らしを支えてきました。今では、人を取り巻く環境から食の安全・安心を支える食品の衛生関連検査や機能性評価、さらには癌をはじめとする難治性疾患の診断・解析、万能細胞の解析から創薬支援など、最先端の生命科学分野への展開にも取り組んでいます。

人を育てる社風、働きやすい職場づくり

社会から信頼される企業として、当社のサービスを実現するためには、なによりも企業を構成する「人」の成長が欠かせません。当社では「人としての成長」「技術者としての成長」の二つを掲げ、キャリアに応じてしっかりサポートできる研修制度を設けています。

働きやすい職場づくりへの取り組みにも積極的に取り組んでおり、これまで「健康経営優良法人 2023」「くるみん」「えるぼし」に認定されました。女性だけでなく、職員みんなが働きやすい職場になるよう、日々、社員と意見交換しながら職場環境の改善を進めています。

いであ株式会社

■問い合せ先
管理本部 人事部　採用担当　日比（ひび）
TEL：03-4544-7600
E-mail：recruit-quay@ideacon.jp　URL：https://www.ideacon.co.jp/

2023 健康経営優良法人 Health and productivity

転載禁止

オリジナル設計株式会社

市民生活を支える、地域の「ホームドクター」です

オリジナル設計は上下水道分野を得意としている建設コンサルタント会社です。私たちは様々な社会インフラに支えられて生活していますが、その設備や構造物に関する調査・計画・設計などを行うのが建設コンサルタントの役割であり、人々の生活を支える、なくてはならない仕事です。当社は、主として『上下水道施設』の計画・設計・施工監理や各種の調査を全国の自治体から受注しています。また近年多発する集中豪雨や台風・地震など自然災害への対策だけでなく、実際に起きた災害に対する早期復旧支援なども私たちの仕事です。土木・建築・機械・電気・情報システムなど各分野のプロフェッショナルが協力しあい、自治体が抱えるさまざまな課題を解決するお手伝いをしています。いわば、上下水道に関する地域のホームドクター、それが私たちオリジナル設計なのです。

地域にとっての「最適解」を見つけるのが仕事です

私たち建設コンサルタントの仕事は、エンジニアとしての専門知識をもとに、現状を客観的に観察し、問題点や原因を分析して、顧客や社会のニーズにこたえる最適解を導き出して提案することにあります。私たちは、各自が専門分野を有しつつ関連分野の知識・経験を深め、自身の技術力・人間力を高めながら同時に社会貢献も果たせることにやりがいや誇りを感じています。その活動分野は国内の上下水道事業を基軸として、ASEAN 諸国や大洋州など海外における水環境や衛生環境の改善提案・調査業務にも幅を広げています。

やりがいを感じながら長く働き続けられる環境があります

当社では、社員の能力を最大限に発揮できる組織風土の醸成と職場の活性化を進めています。例えば「社長意見交換会」では、社長自らが全社員と対話し、会社の現況を説明するとともに社員からの改善提案を聞き取り、迅速に実現化を図っています。

また、有休取得奨励日の設定、社内ネットワークの Wi-Fi 化によるフリーアドレス化、時差出勤制度や在宅勤務制度の導入など、各個人のライフスタイルを尊重しながら生産性向上とワークライフバランスの両立を図る「フレキシブルワーク」（柔軟性のある働き方）を進めています。さらには、ウェアラブル端末の配付、がん早期発見サポートなどを通じ、従業員の健康管理を経営的な視点で考え戦略的に実践し、「人財」を重視した「ウェルビーイング経営」を行っています。

OEC オリジナル設計株式会社

■問い合せ先
新卒採用担当
TEL：03-6757-8801
E-mail：shin_saiyou@oec-solution.co.jp
URL：https://www.oec-solution.co.jp/6recruit/

人は財産

転載禁止

オルガノ株式会社

総合水処理エンジニアリング

オルガノは「水で培った先端技術を駆使して、未来をつくる産業と社会基盤の発展に貢献するパートナー企業としてあり続けます」を経営理念に、地球という惑星に与えられた命あるものすべてに共通の財産である水とともに、水を理解する心と、水を生かす技術を大切に育み続けています。生命の源「水」がもたらす恩恵を、社会の基盤づくりから先端産業、そして毎日の暮らしの中へ届ける水処理の総合エンジニアリング企業として、美しい地球環境との共存と共生に貢献しています。

またオルガノは創業以来70年以上に亘って水処理技術を磨き、多種多様なものづくりの現場に、求められた「水」を提供することで、日本の産業発展を支えてきました。

今ではオルガノの事業の9割は、“社会”と関わりが深い産業分野の売上が占め、電子機器、発電所、医薬、化学製品、食品など様々な工場でオルガノの水処理技術が活躍しています。オルガノはこれからも社会にとっての「水」の価値を高め、「水」の在り方と可能性を模索し続けます。

日々の生活と産業の発展をサポート―オルガノの事業分野―

1．水処理エンジニアリング事業

大型水処理プラントを工場、発電所、浄水場などに建設するプラント事業と、プラント納入後のメンテナンスや改造、運転管理に関わるソリューション事業があります。

プラント事業では、EPC（Engineering：設計、Procurement：調達、Construction：建設）の遂行能力が求められます。世界中から最適な製品、技術を結集し、時には自ら新しい技術を生み出していくことで、お客様が求める「水」を提供します。お客様が求める「水」やプラントの立地条件は毎回変わるため、オーダーメイドで製品を提供します。

2．機能商品事業

キャビネット型やデスクトップ型など中小型の純水製造装置や排水処理ユニット、イオン交換樹脂、高機能膜等の機能材、水処理薬品、食品添加物などの製品を販売します。レディメイドの製品を扱い、お客様ニーズを先取りした製品を提供します。

水で世の中に応える

上下水分野のみを手掛ける会社、純水だけを扱う会社、排水処理だけを扱う会社、水処理膜を製造する会社、ポンプを製造する会社など世の中に水ビジネスに関わる会社は多数ありますが、オルガノは純水から排水まで、プラントから小型水処理装置、水処理薬品まで水処理業界で幅広く活躍しています。

私たちは水の在り方をサイエンスとテクノロジーで追求し、産業、生活、研究など様々な分野に「水」の提案を行っています。

皆さんも私たちと「水」の可能性に挑戦してみませんか。

ORGANO オルガノ株式会社

■問い合せ先
経営統括本部　人事部　採用担当
E-mail：organo-saiyou@organo.co.jp　URL：https://www.organo.co.jp/

転載禁止

三機工業株式会社

サステナビリティ経営を推進します！

三井グループの主要企業の１つとして設備業界を牽引してきたリーディングカンパニーであり、1925 年の創業以来、社会インフラにかかわる多様な要素技術を活かして社会に貢献する企業です。水処理施設、廃棄物処理施設などの環境システム事業をはじめ、ビル空調、産業空調、電気、スマートビルソリューション、ファシリティシステムなどの建築設備事業、コンベヤ、搬送システムなどの機械システム事業を行っています。

多岐にわたって展開する事業そのものが、世界的な潮流であるサステナビリティの追求に合致していると認識しており、サステナビリティ方針を定めるとともに超長期ビジョン「2050 年の姿　選ばれ続ける三機へ！」を掲げました。

多様な人財が能力を発揮する働きやすい職場へ！

当社が創るものは、一つとして同じものはありません。まさにすべてがオーダーメイドの世界です。お客さまからいただいた仕事を通して、お客さまの潜在的ニーズでもある社会の課題を解決しています。そのため当社では、コミュニケーションを重視して「人財」を育て、その能力を最大限に発揮できる働きやすい職場環境づくりを行っています。

国籍や性別にかかわらず多様な能力や個性を持つ人財の採用に取り組んでおり、9 か国 128 名が在籍しています。人事制度を改正し、定年延長や定年後再雇用制度や職種転換制度だけでなく、ハンディキャップをお持ちの方や女性が働きやすい職場環境を整備しており、子育てサポート企業として「くるみん」など多くの認定をいただいています。

大きなプロジェクトに関わる機会もたくさんあります！

（世界初稼働の過給式流動焼却炉）

東京都日野市にある浅川水再生センターに、世界初稼働となる当社の「ターボ型（過給式）流動焼却炉」が導入されました。このシステムは、独立行政法人土木研究所、独立行政法人産業技術総合研究所、月島 JFE アクアソリューション株式会社と共同で研究開発したもので、従来システムに比べ、電力消費量を約 60% 削減する画期的なシステムです。

（南極地域観測隊への隊員派遣）

「環境保護に関する南極条約議定書」が採択された 1991 年以来、当社は日本南極地域観測隊の環境保全担当および機械担当として 19 人の技術者を派遣するなど、我が国の南極観測を支援してまいりました。南極昭和基地ではさまざまな観測が行われ、日々生活する中で廃棄物や汚水が排出されます。当社の技術者はこれらの実態調査をはじめ、廃棄物調査・計量、汚水量・水質調査、汚水処理装置の設置・維持管理などに従事してきました。

「自分が創ったものを残していきたい」、「モノづくりに携わりたい」という強い意志を持った方は、ぜひ当社で自らの可能性を広げ、大いに活躍していただきたいと思います。

三機工業株式会社

■問い合せ先
ホームページ　https://www.sanki.co.jp/
エントリー：マイナビまたはリクナビからエントリーをお願いします。

転載禁止

株式会社神鋼環境ソリューション

社会と地球が調和する未来に向けて

神鋼環境ソリューションは、KOBELCO（神戸製鋼）グループの環境エンジニアリングメーカーです。浄水場や下水処理場などを設計・建設する水処理関連事業やごみ焼却炉などを設計・建設する廃棄物処理関連事業など、環境に関わる領域で事業展開しており、「B to L（Business to Life）企業」として人々の生活を技術で支えています。

当社は「社会と地球が調和する未来を支える」というビジョンを掲げ、持続可能な社会の実現を目指しています。今後も、「今」だけでなく「未来」をも支えるべく、変化する社会ニーズに応えながら健やかな環境と暮らしづくりに貢献してまいります。

事業紹介　～幅広いメニューを手掛けています～

キッチン、お風呂、トイレなどで毎日使っている「水」。その水は、浄水場で作られ、安心･安全な「水」として私たちの暮らしに届けられています。また、使用した後の水＝生活排水は、最終的に下水処理場で適切に処理され、河川や海に放流されています。当社は、それら浄水場、下水処理場に加え、産業用水処理施設や工業用・地域冷暖房用冷却塔など、幅広く水に関わる事業を展開しており、エンジニアリング（設計、建設、運転・維持管理）を通じて、豊かな水環境の実現に貢献しています。

また、カーボンニュートラル実現に向け、水処理の過程で発生する汚泥の有効利用にも積極的に取り組んでいます。下水汚泥や食品工場で発生する食品残渣などの有機性廃棄物をメタン発酵し、発生したガスをボイラーやガスエンジンなどの燃料として利用したり、下水汚泥を炭化し、火力発電所などの燃料として利用する設備を建設しています。

若手の内から挑戦できる環境

当社が手掛ける環境プラントは、幅広い専門知識や技術が詰まった設備であり、特定の専門知識ではなく、衛生、機械、材料、流体、熱、電気、化学、生物、土木、建築・・・と幅広い知識や経験が必要となります。また、最初から最後まで一人で完結する仕事はなく、社内外の多くの人との協力や連携が不可欠です。そのため入社前の専攻は不問としており、配属後に必要な知識を学ぶことが前提の育成プランとしております。また、新入社員に対しては、先輩社員が２年間マンツーマンで指導します。当社は、若手社員に対しても大きな仕事を任せていく方針ですが、相談しやすい環境が整っているため、思い切って挑戦することができますし、困ったときはチームで助け合う文化もあります。

福利厚生･制度面では、奨学金返還支援、寮･社宅、在宅勤務、フレックスタイム、ドレスコードフリー、カフェテリアプラン、キャリア継続休職制度などの導入により、生活が安定し、自分らしく働くことができる職場環境づくりに取り組んでいます。

Keep the Earth Sky-blue
株式会社神鋼環境ソリューション

■問い合せ先
株式会社神鋼環境ソリューション
人事労政部
TEL：078-232-8019
E-mail：SKS-saiyo@kobelco.com

転載禁止

水道機工株式会社

創業以来 100 年間、人の営みを支える水をつくり続けています

1924 年の創業以来、人類と地球環境に欠かすことのできない水に関わる事業を行ってきました。浄水場はもちろん、海水淡水化施設、水再生センター、ゴミ浸出水処理施設、汚泥再生施設など水に関するあらゆる場面で水道機工の高い技術力と製品力が発揮されています。それはひとえに強い志と高い目標を掲げ、人々の生活を支えることへの責任と情熱で、水を見つめ続けてきたからだと考えています。水道機工はこれからの 100 年も、水処理エンジニアリングのリーディングカンパニーとして社会に貢献していきます。

社員一人一人が活躍でき、チャレンジできる環境があります

水道機工は社員一人一人がメインプレイヤーとして活躍できることを望んでいます。それをバックアップするためのサポートは厚く、新人研修や社外研修などの研修制度、メンター制度などの各種研修制度を設けています。

また若手社員のうちからチャレンジすることを推奨する社風があるため、早期に自分の知識経験を活かせる機会が増え、「私がこの浄水場を設計した」など大きな成長とやりがいに繋がる経験を得られます。技術力を磨きながら、自分の意識次第でより高い領域に挑戦できる面白さや楽しさのある環境です。

応募される方へのメッセージ

やりがいと働きやすさのバランスが非常によく、社員がのびのびと自分の知識や経験を活かして活躍できる環境が整っています。制度面・環境面を柔軟に整えることで、社員の働きやすさを実現し、新卒入社社員の 3 年後定着率は 94％、全体の離職率も 2.3％となっています。また、100 年間で培った知識と高い技術力があり、それらを継承し自分のものとして活かしながら若手社員のうちから活躍することができます。もちろんそれには厳しさも付きものですが、温かく見守ってくれる先輩や上司がいます。そのような水道機工ならではの社風によって、やりがいをもって働くことができます。

私たちと一緒に「100 年先も人と地球をつなぐ情熱で、笑顔あふれる環境を技術と製品で創造し、社会に貢献する」挑戦をしてみませんか？

水道機工株式会社

■問い合せ先
新卒採用担当　TEL：03-3426-2138
E-mail：saiyo.skk.mb@suiki-g.com　HP：https://www.suiki-recruit.jp/

転載禁止

セントラル科学株式会社

地球上のすべての生物にとって貴重な水資源を守ります

セントラル科学は『水質測定器』の会社です。1967 年（昭和 42 年）の創立以来、「誰でも迅速・簡単・高精度に測定できる水質測定器」をコンセプトとし、水質測定器の開発と普及に努めてまいりました。簡易 BOD 計や COD 計などのユニークな自社ブランド製品のほか、世界中から先進の技術を有する優れた水質測定器を輸入し、お客様のニーズに合った製品を提供しています。主な納入先は、浄水場や下水処理場、研究機関、飲料・化学メーカーや製薬会社、そのほか水族館や温泉施設など多岐にわたります。人々の生活や産業の発展に欠かせない「水」の『安心・安全』を見守り続け、今後も「水質測定器の普及を促進することにより、地球上の全ての生物にとって貴重な水資源を未来永劫まで守り、活用してゆくための役割の一翼を担い、社会に貢献する」をモットーに成長し続ける企業を目指します。

水に関わる多種多様な業界がお客様です

営業職の業務の流れを例に挙げると、お客様や商社（販売店）へ訪問⇒課題や要望をヒアリング⇒課題解決のための製品提案⇒受注⇒納品後の機器操作説明、利用状況の確認・アフターフォローとなります。水を扱うすべての企業・官公庁・研究所・大学が対象になるため、幅広い業界・職種のお客様と接することが出来ます。

また「最小限の労力で最大限の成果を得る」を目標に、近年はマーケティングとセールスの連携を目指した仕組みづくりにも力を入れています。

楽しく成長できる職場環境

社内向けの勉強会を積極的に開催しております。製品に関する勉強会はもちろん、水に関わる企業として欠かせない水質項目や水処理に関する勉強会も行っております。最近では若手社員向けにプレゼンテーションや意見交換の練習の場も設けております。参加者を若手に限定することでざっくばらんに話し合い、交流を深めるきっかけにもなっています。

また共通の趣味を持つ社員が終業後に会議室に集まることもあり、このような機会は社内の和気あいあいとした雰囲気づくりにも役立っています。

採用担当者からのメッセージ

当社は 20 ～ 30 代の若手が中心となり活躍できる場があります。先輩のフォローはもちろん会社として研修制度や通信教育も用意しておりますので、知識に不安がある方でもまずは興味を持ってお問合せいただけますと幸いです。

セントラル科学株式会社

■問い合せ先
セントラル科学株式会社　総務部
TEL: 03-3812-9186
E-mail:central@aqua-ckc.co.jp
HP: https://aqua-ckc.jp/

採用情報は
こちらから!

転載禁止

株式会社ダイキアクシス

「環境を守る。未来を変える。」

ダイキアクシスは、持続可能な社会の実現に向けて、創業以来「水」を軸とした事業を展開してきました。

「環境機器関連事業」では、総合水処理メーカーとして排水処理装置の技術開発や製造、販売。それだけにとどまらず、施工からメンテナンスまで幅広く手掛け、さまざまな「水」の課題に独自の技術でチャレンジを続けています。また、「水処理のパイオニア」として業界に先駆けて新たな素材を使った浄化槽を発売するなど、常に業界の最先端を走ってきました。

今、世界では深刻な水環境汚染が問題になっています。国内はもちろん、海外の水環境の改善および保全に貢献するため、インドネシアやインドをはじめとするアジア・アフリカ諸国において浄化槽の普及に努めています。

「環境を守る。未来を変える。」

ダイキアクシスは、世界中の「水と環境」の課題に向き合い、より豊かで持続可能な社会と未来を実現するため、挑戦を続けます。

イラク納入　円筒槽（直径：約2m×長さ：約10m）97基

たくさんの失敗の先にある“開発の楽しさ”

開発は、製品のコンセプト立案から具体的な仕様を決定するまでの仕事です。生活排水をどうやって浄化するのか、その手法（処理方式）や構造・大きさを考え、それが実際に意図したとおりにできるかどうかを試験によって検証し、製品の最終形態を決定します。

開発の段階では実験結果など思ったようにいかないことも多いですが、自分の頭の中で空想したものが“モノになる”ことが何よりも楽しいと思えるから、心折れずに「最後までつくりたい」という意思を持って取り組めます。

最近、開発部門にも若い社員が増えてきました。これまでは実務担当者として自分の好きなことをさせてもらっていましたが、今になって周りの方のたくさんのフォローがあって自分の仕事ができていたことに気付きました。これからは自分がフォローする立場になって、自分自身のスキルアップを図りながら後輩たちにも指導し、開発の楽しさを伝えていきます。

“採用教育”で成長できる機会提供を

ダイキアクシスでは、「学生の成長支援を通じた採用活動」をしたいという想いから学生に寄り添った就職関連のセミナー、インターンシップ（対面型職場体験）、面談等を実施し、フィードバックまで行います。

また、入社前に自社が取り組んでいる事業はいかに世界に大きな影響があるかを学ぶことで、自社が営む事業を自分ごととして捉えることを目的とし、内定者海外研修を積極的に行っています。多くの体験を積むことで、自分たちで考え発信する力を養ってもらうことを期待しています。

コーヒー農家にエネルギー装置を設置する活動

PROTECT×CHANGE
Daiki AXIS

■問い合せ先
株式会社ダイキアクシス
人事部　採用教育課　採用担当
TEL：089-927-3330
E-mail：recruit@daiki-axis.com

採用情報はこちら!
エントリー受付中です。

転載禁止

株式会社中央設計技術研究所

先輩からのメッセージ

クライアントに「信頼」され「頼りにされる」コンサルタントに！

建築の仕事を生業にしている親戚がいたため、建築現場は身近な存在だった。
いつか自分も建築や土木関係の仕事に就きたいと、大学で土木工学を専攻。
「生まれも育ちも金沢なので、地元･金沢のインフラなどに貢献できる仕事がしたいと、当社に入社を決めました。」
会社としては、都道府県や市町村を対象に、水道全般の計画、設計、施工管理業務を行う。その中で、水道管の設計や交換のための計画業務を担当する。
「入社１年目の終わり頃、初めて水道管の設計をすべて任されました。お客様とも打ち合わせを重ね、出来上がった時は嬉しかったですし、お客様に喜んでもらえた時は、この仕事のやりがいを実感しました。一方で、水道管を順次取り替えていくために、管の調査と評価を行い、優先順位を決めていきます。ただし古さか耐震性かどちらを優先するか、地域によって考え方も異なるため、その調整に苦労します。」
壁にぶつかった時は上司や先輩が常にサポートしてくれるのが心強い。
「提案力も交渉力も素晴らしい上司や先輩が多く、的確なアドバイスにいつも助けてもらっています。目標となる先輩がいるのは、恵まれた環境だと思います。」
関わっているものが水道というインフラ業務だけに､不備があれば住民の生活に直結する｡ましてや災害が起こった時などは､生命にも関わるライフラインだ。それだけ責任のある仕事を担っているということを常に意識をする。「一口に水道と言っても、取水、配水、排水、浄水など幅広い分野があり、それぞれに専門知識が求められます。プロとしての技術力はもちろん、提案力も向上させるためにも、勉強と経験あるのみです。」目指すは水道のエキスパートと語る表情からも､強い使命感と覚悟が伝わってくる。　（高 良平さん／本社水道部 2013 年入社）

採用担当者からメッセージ

私たち中央設計技術研究所が提供する技術サービスは、人々が生活する上で欠かすことのできないものです。
創立 75 年以上の歴史の中で培われた技術をベースとして、IT 技術や先進技術を駆使し、「水と環境」の事業全般に関わっています。
社員に対する処遇も大手企業に並ぶ水準を保っています。さらに、売上高、社員数ともに、日本海側で有数のコンサルタントとして評価を頂いています。
「水と環境」というフィールドで、将来のプロフェッショナル・エンジニアを目指して、自分の可能性を試したい方は、是非私たちと一緒に働いてみませんか？

地域創水で、地方創生を。
株式会社 中央設計技術研究所
Chuou Sekkei Engineering Co.,Ltd
■問い合せ先
〒920-0031　石川県金沢市広岡三丁目３番 77 号 JR 金沢駅西第一 NK ビル７階
TEL ：076-263-6464　E-mail：cs_webmaster@cser.co.jp
URL：https://www.recruit.cser.co.jp/

転載禁止

株式会社　千代田コンサルタント

事業概要

当社は、1962 年に創業以来、橋梁を出発点とする構造、道路、都市計画分野を中核とし、トンネル、施設、景観デザイン、環境、下水道及び河川分野等に至るまで、幅広い技術を提供している「総合建設コンサルタント」です。地球温暖化への待ったなしの対応、多発する自然災害、少子・高齢化などの社会現象等に対して、建設コンサルタントに求められる役割は益々大きなものとなっています。

私達は「社会から求められる社会に貢献する優れた技術者集団」として“安心・安全な国土と活力ある地域づくりの実現”に向けて取組んでいます。

仕事内容

当社は、総合コンサルタントとして有する幅広い技術から水環境というテーマに関わっているのが特徴です。このため広い視点で水環境をみつめ、問題・課題に取組むことができます。

そのなかでも環境・下水道・河川分野の役割は重要です。

水質・水量保全の観点では、環境調査の実施、汚水適正処理等の計画立案、下水道施設（汚水処理場、管渠等）の設計、さらに豪雨災害による水質悪化の抑制に対して浸水・治水対策にも力を入れています。また､グリーンインフラの導入に向けた提案なども行います。

水生生物や水辺地の保全・創造に対しては、動植物などの生態系調査はもとより、河川環境整備計画の立案、親水性の高い河川空間の提案、さらに地域文化と水環境をまちづくり資源として活用するための提案なども行います。

地球温暖化防止への対応としては、再生可能エネルギーの利活用についても積極的に取組んでいます。

先輩社員の声

千代田コンサルタントは、思いやりとチームワークを大切にする伝統的な社風を基盤に、高い技術力と創造力を有した会社です。当社は事業分野ごとに取り扱う業務が大きく異なりますが、複数の分野を跨ぐ事業では各チームが垣根を越えて、技術力を結集させ、業務を遂行することができます。これは「総合建設コンサルタント」ならではの強みと認識しております。また、個人がやる気とチャレンジ精神を有していれば、難しい事業への参加や分野を越えた経験を積むことができ、個人の成長に繋げられます。大変な時期もありますが、厳しくも温かい上司や諸先輩方の存在により前を向いていけます。

今後も安心・安全で潤いのある美しい国・地域づくりに貢献して行きたいと考えています。

～安心・安全な国土と活力ある地域づくりの実現を目指して～

START for Tomorrow

株式会社 千代田コンサルタント

CHIYOCON

■問い合せ先
採用担当
TEL：03-3527-1013
E-mail：saiyou@chiyoda-ec.co.jp

転載禁止

月島JFEアクアソリューション株式会社

上下水道分野のリーディングカンパニーへ

創業118年を迎えた「月島機械」の水環境事業は2023年10月1日、JFEエンジニアリング株式会社（JFEE）の国内水エンジニアリング事業部門と統合し、「月島JFEアクアソリューション株式会社（TJAS）」として新たな一歩を踏み出しました。

水をきれいにするだけではなく、両社が強みを持つ汚泥消化など下水汚泥処理技術の融合や、月島の脱水技術とJFEEの水処理技術による相互補完などで競争力を高めます。

メーカー兼エンジニアリング会社として、創エネルギー技術の開発に注力し、再生可能エネルギー事業を強化し、上下水道分野におけるリーディングカンパニーを目指します。

「人」を大切にして「地球環境」を守る

水インフラ業界全体で、現場職員の高齢化は深刻な問題となっています。

遠隔監視やAI活用による省力化に取り組みながら、働き方改革やダイバーシティ推進に力を入れ、社員一人ひとりの幸せが会社の成長や脱酸素社会の構築へ寄与する、そんな会社を創っていきます。

TJAS
月島JFEアクアソリューション株式会社
■問い合せ先
新卒採用担当
TEL：03-5547-8400　E-mail：recruit_tjas@tjas.co.jp

転載禁止

月島ジェイテクノメンテサービス株式会社

「何事もない日常」を支える技術者集団

「水」に関して私たち日本の暮らしは、世界トップレベルの快適さを保っていると言うことができるでしょう。顔を洗うにも、お風呂に入るにも、そして飲料としても安全な水道水がいつも安定して提供され、トイレや調理で出る排水は適切に処理をされています。

それらの「何事もない日常」を支えているのが、私たち月島ジェイテクノメンテサービス（以下 TJTM）の仕事です。TJTM は全国約 130 カ所の上下水道関連の施設運営・管理を行い、皆さんの日常を支えています。「ライフラインを守ることで仕事そのものが社会貢献に繋がる」。TJTM はそんな誇り高き技術者集団です。ライフラインを守る事業の一方で、下水汚泥燃料化や消化ガス発電といった廃棄物を新しいエネルギー資源として有効活用するなど、地球環境問題に対する新たな取り組みにも挑戦しています。

「運転管理事業」と「補修・設備工事事業」の２本柱で展開

TJTM の主な事業として、快適な生活を 24 時間・365 日提供できるように、上下水道の業務全般に携わり、環境にやさしい水を提供している「運転管理事業」と、上下水道処理施設に設置している機械の補修工事や新規設備工事を行う「補修・設備工事事業」があります。「運転管理事業」では、全国にある上下水道処理施設の運転監視、点検整備（保守点検・維持修繕）、管理・巡回点検、水質管理等を実施しており、直接的に人々の生活を支えています。「補修・設備工事事業」では、プラント設備の計画から試運転まで携わるため、工事終了後は自分で携わったものが「形」となって残ります。上下水道処理施設は、人々の生活に欠かせないインフラです。TJTM の技術とノウハウを活かし、社員一人ひとりが責任感と使命感を持って、人々の生活や安心して暮らせる環境を支えています。

「人」が最も大切な財産

TJTM は技術の会社であり、会社をあげて皆さんの入社後の能力開発を全面的にバックアップしていきます。それは、何よりも「人」が一番の財産という理念があるからです。特に世代ごとの能力開発を促す「手づくりの教育」が特徴的であり、人材育成教育を積極的に展開しています。また資格取得のための助成制度の仕組みも充実しているほか、会社生活を楽しく過ごすための部活動も活発に行われています。現在は、野球、サッカー、フットサルなど多岐にわたり実施し、縦横の繋がりを大切にしています。人間が生活していく上で必要不可欠な「水」。決して華やかで脚光を浴びる業界ではありませんが、強い使命感を担った TJTM で一緒に頑張りましょう。

TJTM

月島ジェイテクノメンテサービス株式会社

■問い合せ先
人事部採用教育課
TEL：03-5245-7161　　FAX：03-5245-7166
E-mail：tjtm_saiyo@tjtm.tjas.co.jp

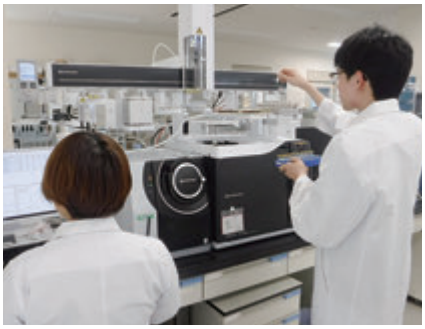
転載禁止

内藤環境管理株式会社

化学分析業から快適環境創造業へ

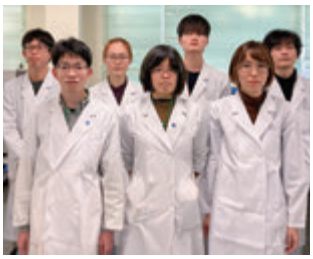
私たちは昭和 47 年に、「正確・迅速・親切」を基本コンセプトとして、気軽に利用できる化学分析専門会社を目指してスタートしました。経営理念の「快適環境創造に活きるデータ　役に立つ科学技術を提供し　人類社会に貢献することが　私たちの使命です」にあるように、お客様の快適環境創造のパートナーを目指しています。

事業内容・当社の取り組み



主な業務内容：①環境管理に伴う調査・測定・化学分析②ビル管理に伴う水質検査・空気環境測定③水道法第 20 条に基づく水質検査④製品開発・品質管理に伴う化学分析⑤アスベスト・PCB 等の化学分析⑥労働衛生管理に伴う作業環境測定⑦土壌分析・建設発生土（残土）分析
有資格者：環境計量士　10 名、作業環境測定士　14 名
研修・教育・活動：若い社員の育成につながる取り組みとして、快適環境創造研究会（9 のプロジェクト）【お客様のパートナーになるべく、情報提供と課題解決のための活動】、学会・研究会への参加、研究発表、外部研修、環境計量士を目指す人向けの社内勉強会の実施等
ワークライフバランス：計画的に年休を取得する体制づくり（5 日間の長期休暇制度）

先輩の声



- 会社説明会で「若い社員でもチャレンジする機会は平等にあります」という言葉を聞き、当社を志望しました。自分の志さえあれば、社内外において学生時代に学んだ分野とは違ってもチャンスをもらえる環境が当社にあります。（技術職　男性社員）
- 自分が学生のときに学んだことが活かせると思い、当社を志望しました。会社見学で、若い人達が生き生きと仕事に取り組んでいると感じました。お客様から相談された時、学会での発表等にチャレンジすることが、やりがいに繋がっています。（技術職　男性社員）
- 学生時代に興味があった機器分析を仕事とすることができ、しかも環境に関われるということで当社に興味を持ちました。資格を持っている人が多く技術力が高いと思ったことが志望動機です。外部に自分の知識と技術力を活かした情報を発信することができることもやりがいの一つです。（技術職　男性社員）
- 外部研修に参加できる機会が多いです。学生時代に使用していない機器でも、メーカー主催の研修等に参加することで、取り扱いを詳しく教えてもらうことができます。毎日業務を行うなかで、様々な試料を分析し、なぜそのような結果が出たのかを考えた時に、それぞれ異なる要因や他の物質との関係性が見えてくるのが面白いです。（技術職　女性社員）

The Knights of Environmental Science
内藤環境管理株式会社

■問い合せ先
内藤環境管理株式会社　総務部
TEL:0120-01-2590
E-mail:admi@knights.co.jp

転載禁止

株式会社日水コン

水の総合コンサルタントのパイオニア

当社は、上下水道事業を中心に、計画・設計等の技術コンサルティング・サービスを提供している建設コンサルタントです。1959 年の創業以来、「水」へのこだわりを持ち続け、国内外各地の水道、下水道、河川等の「水環境」に関わる分野の技術で、地域社会や諸外国に貢献してきました。

今日、水環境をめぐる状況には税収や人材の不足、環境問題、水資源問題、豪雨対策、耐震化等、様々な課題があります。こうした多岐にわたり、高度化する課題に対処し、これまでに培ってきた「知識・技術・経験」をさらに発展させ、挑戦を忘れず『潤いある未来へ』向かって貢献していくことが私たちの使命です。

メリハリある働き方で社会に貢献

「仕事とプライベートをバランスよく両立するメリハリある働き方」をめざして、会社を挙げて働きやすい環境づくりに取り組んでいます。年次有給休暇については、入社時点で 15 日付与され、勤続年数に応じて最大 25 日付与しております。さらに社員が自由闊達に働けるよう、オフィスのフロアリニューアルやフリーアドレス化、ICT 環境の充実を進めています。そのほかにも在宅勤務やモバイル勤務、フレックスタイム制度を利用した時差出勤などを組み合わせながら柔軟な働き方を推進しています。

また、会社として「健康」を経営課題としてとらえ、「体」「心」「スキル」の 3 つの要素を好循環させる「日水コン WLC（Work Life Circulation）」の取組みを通じて、より安心して、自分らしく働ける会社を目指しています。

「ミズカラ、カエテイク」のは君たち！

水コンサルタントとして働くためには、水環境が抱える多種多様な課題に挑戦し続ける意欲と技術力が求められます。そのため、私たちの会社では「人こそ財産」を基本理念に置き、コンサルタントとして技術力を身に付け、研鑽し、課題解決にチャレンジしていくためのキャリア・サポートの仕組みが整っています。

私たち日水コンは、「ミズカラ、カエテイク」志をもった新しい仲間と一緒に、水インフラを支えていく仕事をしていきたいと考えています。あなたも日水コンの一員となって、潤いある未来をつくりましょう。

潤いある未来へ
株式会社日水コン　nissuicon

■問合せ先
新卒採用担当
TEL：03-5323-6213　E-mail：saiyou@nissuicon.co.jp

転載禁止

地方共同法人日本下水道事業団

下水道事業に特化した公的機関です

当事業団は、「下水道ソリューションパートナー」として地方公共団体の水処理・汚泥処理施設やポンプ施設などの下水道施設の整備や運営を支援・代行している地方共同法人です。1972 年の設立以来、全国に約 2200 カ所ある下水処理場のうち、約 7 割にあたる約 1500 カ所の建設等に関与してきました。

下水道事業が更新・管理の時代へと大きく構造変化する中、国・地方における財政制約、地方公共団体の下水道の執行体制の脆弱化への対応が急務となっております。加えて、近年は地震や水害等の自然災害が頻発しており、災害の脅威への強靱化対応の重要性がますます高まっております。

当事業団はこのような状況に対し、持続可能な下水道事業を実現する観点より、政策形成から設計・建設、維持管理に至る事業全般について支援しつつ、ＰＰＰ／ＰＦＩ等の新たな事業、頻発する災害への対応、ニーズに応える技術開発、下水道技術者の育成に資する研修等を中心に、下水道のライフサイクル全体にわたる支援をしております。また、ＤＸ(デジタルトランスフォーメーション)の推進により技術やサービス、ビジネスモデルの変革を牽引することにより、技術、人材、情報等下水道の基盤づくりを進め、良好な水環境の創造、安全なまちづくり、持続可能な社会の形成に貢献していきます。

下水道に関する幅広い事業を経験することができます

下水道事業の内容は、計画・設計・施工・維持管理など多岐にわたります。当事業団は、地方公共団体と一体となって下水道施設のプランニングを行い、ゼネコンやコンサルタント、設備メーカーなどのパートナー企業とともに設計・施工を進めています。東京・大阪の事務所を中心として、全国の地方公共団体を技術的な側面からサポートしています。

充実した人材育成プランを準備しています

下水道事業の実施には、土木や化学･生物だけでなく、機械･電気･建築･経営といった幅広い知識が必要となります。そのため、入社後の人材育成に力を注いでおり、充実した教育研修制度や資格取得に対するバックアップ体制を備えています。学生時代に下水道を勉強していなくても心配ありません。研修は、下水道事業計画の策定から設計や施工、維持管理といった幅広いコースがあり、業務・職種の専門性に応じて受講が可能です。

また、2～3年ごとにジョブローテーションをおこない、各分野の経験を積む機会を設けています。定期的な配置換えにより、様々な業務を経験し、広い視野で事業を俯瞰できる人材を育成しています。

公的な立場から下水道事業の技術者として携わりたい方をお待ちしています。

地方共同法人
日本下水道事業団
Japan Sewage Works Agency

■問い合せ先
日本下水道事業団 新卒採用担当（技術系）
TEL：03-6361-7828
E-mail：jsrecruit@jswa.go.jp

転載禁止

日本水工設計株式会社

顧客の技術パートナー“水コンサルタント”

当社は“ずっと もっと 水とともに。”をモットーに、人々の生活を支える水の総合コンサルタントです。自治体の技術パートナーとして上下水道等に関する課題・ニーズをヒアリングし、調査･計画･設計や上下水道事業の運営支援を担っています。

日々アタリマエに使用している上下水道ですが、現在様々な問題に直面しています。これまで水環境を支え続けていたインフラ施設の老朽化にはじまり、豪雨や地震など自然災害の増加や、少子高齢化・人口減少による全国的な財政基盤の弱体化など課題は山積みです。だからこそ私たち水コンサルタントの役割は重要性を増しています。アタリマエを支え、次世代に継承するために、創業以来培ってきた上下水道整備の豊富な知識と専門的な視点に加えて、AI や IoT などの最新技術を駆使し、日々多くのプロジェクトに携わっています。

教え合い成長を支援・働きやすい環境づくりを目指して

当社は「教え合う文化」が根付いており、部署や年代関係なく意見・相談しやすい社風です。入社から日の浅い若手社員でも率先して自分の考えを提案でき、その意見を元にプロジェクトが進むこともあります。そのため若手のうちから一人の技術者として、水インフラ整備に貢献することができます。自分の提案がまちづくりに反映され、人々の生活を支えていることを実感でき、仕事のやりがいを感じられます。

また、社内ではワークライフバランスのためのノー残業デー実施や有給休暇の取得推進、時差出勤の取り組みなどを実施しており、今後も社員が働きやすい環境づくりに力を入れていきます。有給休暇日数は初年度から 15 日の付与があり、仕事のときと休むときのオン・オフを大事にしながら働くことができます。

採用担当者からのメッセージ

現在、水コンサルタントの事業フィールドは、高度経済成長期の新規建設の時代と比較して、より拡大し、さらに高度化しています。そのため、水の専門知識だけでなく土木・建築・機械・電気の各分野における専門知識に加えて、財政や経営、IoT に関する知識もますます重要となっています。しかし、当社ではこれらの技術的な側面だけでなく、「人としての信頼性」を依然として最も重要な要素と位置づけています。技術力はもちろん大切ですが、お客様との信頼関係やプロフェッショナリズムも同等に重要です。当社では、社員一人ひとりが高い倫理観と責任感を持ち、お客様に対して真摯で信頼性のあるサービスを提供しています。

当社はキャリア形成と自己成長に積極的に取り組む意欲をお持ちの方々を全力でサポートします。是非、日本水工設計の一員となり、人として信頼される技術者になりませんか？共に働ける日をお待ちしています。

NSS 日本水工設計

■問い合せ先
日本水工設計株式会社　採用担当
東京都中央区勝どき 3-12-1
TEL：03-3534-5511
MAIL：recruit@n-suiko.co.jp

積極採用中!
会社説明会受付中
エントリーはこちら

転載禁止

日立造船株式会社

「日立造船」ってどんな会社？

循環型社会実現に向けた「ソリューションパートナー」を目指して

私たちは「日立造船」という社名ですが、戦後の財閥解体時に日立グループから独立、また 2002 年には祖業の造船事業も分離しました。現在は、「脱炭素」「資源循環」「安全で豊かな街づくり」という３つの事業分野でグローバルにビジネスを展開しています。水処理事業の分野では、汚泥再生処理センターをはじめ、上下水道、産業排水処理システムなどの設計・施工を行っており、日本国内のみならず、海外にも実績を有しています。このような、事業活動による各種社会課題の解決を通じて、SDGs（持続可能な開発目標）の達成に取り組み、社会の持続的発展に貢献している企業です。なお、当社は 2024 年 10 月 1 日に、社名を『カナデビア』に変更し、“ 技術の力で人類と自然の調和に挑む企業グループ” として新たな歴史を築いていきます。

高い技術力とチームワークでプロジェクトを完遂する

し尿や浄化槽汚泥を処理する汚泥再生処理センターを例にとると、固形物や水質汚濁物質が多量に搬入されるため、それらを処理するための高い技術力が必要となります。当社は日本で初めてし尿の無希釈処理を可能にした独自システムを開発し、汚泥再生処理センターの設計から完成まで一貫した業務を行っています。

水処理事業のお客様は自治体や民間企業など、多岐にわたります。お客様やコンサルタントの方と入念に打合せを行い、様々な要望や処理する廃水の特性を考慮し、オーダーメイドで施設の設計、施工を行います。受注から完成まで２～３年ほどかかる施設もあることから、粘り強く社内外と調整しながら、業務を遂行するための力が求められます。部署の垣根を越えたプロジェクトチームが一体となり、完成に向けて日々業務を行っています。

一人一人にしっかり向き合いながら、世界に通用する人材に育てます

当社は近年、100 名を超える規模で新卒採用を行っており、水処理事業の関連部署にも若手社員が多く在籍しています。入社後２年間は新入社員１名に対し１名の指導員がつき、社会人としての基礎知識や業務スキルを丁寧に指導しますので、わからない、困ったと感じることがあれば、すぐに尋ねることができます。

社風としては、一般的に「真面目」、「穏やか」と社外の人から評価されることが多いですが、本業である造船業の分離、環境事業を事業の主軸にする方針転換などを経て、世界を舞台に果敢に挑戦し続けた当社の社員は、内なる熱意を秘めた方が多く在籍しています。「環境の日立造船」として活躍している当社で、挑戦したい方をお待ちしています！

Hitz 日立造船株式会社
Hitachi Zosen
■問い合せ先
人事部　採用グループ
TEL：0120-46-7518 ／ 06-6569-0019
E-mail：hq-saiyo@mml.is.hitachizosen.co.jp

転載禁止

株式会社日立プラントサービス

「地球環境に貢献する水・環境ソリューションパートナー」をめざし、「お客さまのビジネス成長と社会課題解決に貢献」していきます

当社は、日立グループの一員として、産業プラント、公共インフラを支える生産プロセス、電気・空調・水処理施設などの企画、設計、建設からメンテナンスまで一貫して提供しています。これまで、きれいな水、空気をつくるクリーン化技術、省エネルギーと高効率化技術でお客さまのモノづくりに貢献してきました。

また今日では、環境負荷の低減、持続可能なバリューチェーンの構築、働きがいやQuality of Life(QOL)の向上など、多様な課題への対応が、モノづくりの世界と、それを支える企業にも求められております。

そのような多様性が求められる中で、新たなモノづくりと豊かな社会の実現に向けて、「お客さまのビジネス成長と社会課題解決に貢献」していきます。

水処理事業

当社の水処理事業は、浄水場や下水処理場など、人々の生活に身近で欠かすことのできない『上水・下水道分野』、自動車工場、電子半導体工場など、様々な産業・製品を生み出すために必要な「水」を扱う『産業水処理分野』からなります。各種水処理設備の提供を通して、「安全な飲み水」「きれいな水」「低環境負荷」に貢献します。

■上水・下水処理

お客さま・地域の課題に応じた持続可能な水インフラに対して、新設から保守・維持管理サービス、更新まで一貫したソリューションを提供し、地域、人々の暮らしを支え続けていきます。

■産業水処理

産業と水のコラボレーションの可能性を追求して、水資源を活かすリサイクル技術やデジタル技術による効率化など、多様化するお客さまのニーズにソリューションをご提供します。

先輩エンジニアの声

「大切なのは、“わからない”があったらまずは頼ること」

私は、産業排水を扱う水処理施設の施工計画や施工管理を行う、産業水処理部に所属しています。現場のひと区画を担当し、そこで工程・機械・電気など、さまざまな分野の方々との調整や施工の管理を行っていくことが主な仕事になります。最初から最後まで現場に関わることは初めてだったので、なにも設備が入ってない状態の工場から、すべての設備が据え付けられて完成したのを見たときは、やりがいのある仕事だなと感じました。わからないことがあったときには、周囲に意見を求めたり、自分で調べたりして、相手に意見をぶつけるようにしています。それは先輩たちも通ってきた道です。一つ一つ経験を、積み重ねていくことこそが、自分自身の成長につながると思います。

最後に、採用グループよりメッセージ

一人ひとりの挑戦する心とチームワークによって、社会・お客さまへ新しい価値を提供し、私たち自身も常に成長していく。この成長のスパイラル（連鎖）こそが当社の力です。

当社の強みであるチームワークと企業の存在価値、仕事の意義、使命感を共有できる仲間を求めています。

HITACHI
Inspire the Next

■問い合せ先
株式会社日立プラントサービス
人事総務本部　人財開発センタ　採用グループ
TEL：03-6386-3001
E-mail：hps.saiyou.np@hitachi.com
HP：https://www.hitachi-hps.co.jp/

転載禁止

株式会社フソウ

【フソウビジョン】地域の暮らしの未来を見つめ、地域らしさを創っていく

地域における多様なレジリエンス

地域社会が持つ「環境が変化していく中で、それに適応できる力」、すなわちレジリエンスを維持、強化する視点を持ち、私たちが暮らす地域にはどんな予測力、予防力、対応力が必要なのか、考え続けていきます。

暮らし密着型の地産地消

地産地消には「地域活性化」「エコ」「食育」といった思いが込められています。地域の未来に、どんな地産地消を描いていきたいかという視点を持ち、地域の声に耳を傾け、本当に必要なことは何か、考え続けていきます。

地域を活かす多様性

地域で暮らす一人ひとりが持っている「良いモノ」やその地域に根付いている「伝統」をどう活かしていくかという視点を持ち、アップデートし続けていくことで、地域らしさと持続可能性の両立が見えてくるはずです。

フソウの事業活動と技術　～人々の暮らしにより深く関わる会社を目指して～

■建設部門…全国の都道府県・区市町村が管理する浄水場・下水処理場などの改築更新に伴い、土木・機械・電気設備の設計・施工・メンテナンスを行っています。長年にわたり関わってきたプラント設備は、延べ数千件にも及びます。現在では小水力発電、バイオマスなどの再生可能エネルギー分野にも取り組み、人々の社会生活を守るための事業活動を行っています。

■商社部門…全国の都道府県・区市町村で上下水道工事をするお客様へ、管材及び資機材の販売を行っています。日本の水道管路はおよそ 68 万キロにも及びます。人々の生活に欠かせない水を運ぶ管路を安定的に維持するため、全国の水道工事に必要な資機材の販売を行っています。

■製造部門…全国の水道施設で利用する現場に即した多種多様な異形管、水管橋の設計製作を行っています。

■技術部門…フソウが施工する案件の設計、上下水道プラントにおける様々な課題を踏まえ IoT を活用した技術実証、BIM/CIM モデルの活用、学術団体との共同研究を行い、人々の暮らしをより豊かにするための技術開発を行っています。

先輩社員からのメッセージ

現在私は、配水施設における土木、建設、機械電気設備に至るまでの一式工事にて、特に品質や工程に関する施工管理業務を担当しています。工事現場というと重機の操作や掘削作業をイメージされる方も多いかもしれませんが、実際にはスケジュールや工法計画から当日作業内容の確認、書類作成や発注者との打合せ等、多岐に渡る管理業務が主な仕事となります。現場工事を遅滞なく安全に遂行する事は大きな責任を伴い大変な部分も多々ありますが、多くの人の役に立てる仕事であること、工事が進むにつれ日々形として出来上がること、自身の成長を強く実感できることに大きなやりがいを感じています。

水インフラという我々の生活に欠かすことのできない分野で、やりがいや誇りを持って共に取組んで頂ける方、一緒に働けることを楽しみにしています!!

水をつくる、いかす、考える。

FUSO

株式会社フソウ

■問い合せ先
株式会社フソウ　人事部　採用担当
TEL：03-6880-2113
E-mail：saiyo@fuso-inc.co.jp

転載禁止

株式会社明電舎

事業の概要

明電舎は、電力、水処理、鉄道･交通などの社会インフラや各種産業分野において、電気の技術で幅広く社会に貢献してきました。創業は 1897 年（明治 30 年）で、126 年の歴史を持ちます。

水インフラの分野では、監視制御装置や受変電システムをはじめとした上下水道プラント用電気設備、太陽光・小水力発電などの再生可能エネルギー用製品、水クラウドコンピューティングを活用したシステム等で、お客様施設の安定運用や業務の効率化に貢献してきました。

近年では、増加するゲリラ豪雨に対応するための ICT・IoT を活用した都市浸水対応システム、DX を推進するための広域監視技術や AI を活用した運転操作支援技術の開発を推進しています。また、上下水道分野や工業排水再利用システムにおける安定した水処理や省エネに貢献するセラミック膜の販売を国内外で展開しています。

仕事内容、プロジェクトの事例

当社では、上下水道プラント用電気設備の設計、製造、据付工事、施設の維持管理を含めトータルにサポートし、これらに直接携わることができます。お客様の業務改善や効率化、新たな価値を創造する設備を提案し、受注につなげることも重要な業務です。

防災関連では、管きょ情報をリアルタイムに「見える化」するための、下水道管きょ用 IoT デバイス「マンホールアンテナ」と IoT 防災監視サービスの連携により、都市浸水リスクを可視化する取り組みを自治体と共同で実施しています。

水処理関連では、技術継承の課題に対して熟練技術者のノウハウを AI に置き換え、実稼働している下水処理場の運転操作を支援する実証事業、並びにカーボンニュートラルの実現を見据え、下水処理水から高い効率でエネルギーを回収する技術の実証事業等を国からの委託により実施しています。

先輩社員の声

当社はサステナビリティ経営を推進しており、「カーボンニュートラルへの貢献」「安心・安全・便利な社会の実現」「共創によるイノベーション」「多様な人財がイキイキと成長･活躍できる風土醸成」といった重要課題を掲げ、水インフラ分野においても、これらの課題解決に貢献しています。また、ウェルビーイングを実現するため、多様な価値観を持った皆様が活躍できる環境整備や時代に合った働き方を推し進めています。さらに当社では､若手のうちからお客様と接し、成果を公表し、最先端の研究開発に携わることが可能です。

明電舎の「舎」は「志を同じくする者が集う場所」という意味です。我々とともに活動し、将来にわたり社会インフラを支え創造する人財を待望しています。

MEIDEN
Quality connecting the next

■問い合せ先
人事統括本部　人財開発部　採用推進課
TEL：050-3664-1840
URL：https://www.meidensha.co.jp

転載禁止

前澤工業株式会社

創業 80 余年の水インフラ企業として

当社は、創業以来 80 余年にわたり、上下水道用機器･水処理装置のメーカーとして、上下水道分野のインフラ整備に携わり現在では、バルブ事業・環境プラント事業･産業向け水処理事業･バイオマス事業を主要事業としています。

当社の製品は、日常生活で目に触れるものは数多くありませんが、皆さんの「安心・安全な暮らし」を支えています。

当社では、社会に関心を持ち、新しいことにチャレンジしていく人材を求めています。ぜひ私たちと一緒に前澤工業の一員として、水インフラを支えていきましょう。

地球環境のためにマエザワの技術で貢献を

当社を含む産学官連携チーム（高知大学・香南市・高知県・日本下水道事業団･当社の５団体）の取組が、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）が実施する 2019 年度「STI（Science, Technology and Innovation）for SDGs」アワードで優秀賞を受賞しました。

この取組で研究･開発された「OD 法における二点 DO 制御システム」は、高知県香南市野市（のいち）浄化センターで行った実験で消費電力を３分の１、処理時間を半分にし、処理コストも削減できることを実証しました。この結果を踏まえ、同市内で本技術を２ヵ所に導入した他、新潟県糸魚川市や秋田県北秋田市などへも水平展開を行っています。この取組が、人口減少が進む地方都市における汚水処理の持続性向上に資すると認められ、SDGs（持続可能な開発目標）の６「安全な水とトイレを世界中に」、７「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」等、４項目の達成に貢献する統合性のある技術と評価されました。またこの技術は、令和３年度に一般社団法人日本産業機械工業会主催第 47 回優秀環境装置表彰において「経済産業大臣賞」も受賞しました。

先輩社員からのメッセージ

大学時代に微生物学を学び、水処理に興味を持ちました。弊社に入社したきっかけは「水とともに躍進し」というフレーズに惹かれたからです。

所属する分析センターでは、上水・下水・排水・環境水・実験工程水・資機材浸出水・バイオマス・廃棄物・異物など多種多様な物質を分析しています。日々様々な検体が届きますが、依頼者の要望に応えるため、スピーディに精度よく分析するよう心がけています。

弊社は風通しがよく、若手でも様々なことにチャレンジさせてくれる会社です。ものづくりと水インフラに興味のある好奇心旺盛な方、共に働けることを楽しみにしております。

環境Ｒ＆Ｄ推進室　分析センター
石川 璃菜

前澤工業株式会社

■問い合せ先
管理本部 人事部 採用担当　吉田
TEL：048-259-7412　　E-mail：jinjisaiyou@maezawa.co.jp

転載禁止

株式会社前澤エンジニアリングサービス

持続可能な水インフラを支える

水とともに

Maezawa Engineering Service

当社は前澤工業のグループ会社として、1985 年に設立しました。グループ一貫体制で研究開発から設計建設、運転管理、メンテナンスまでを行っており、その中で当社はメンテナンス部門としてマエザワの一翼を担っています。

主要事業として、上下水道用バルブ・ゲートや水処理機械のメンテナンス・リニューアル工事に加え、上下水道のオペレーションまで、官公庁を中心に手掛けています。

昨今、インフラ設備の老朽化や人口減少・少子高齢化に伴い、維持管理の民営化・広域化の動きがあるなど社会基盤の状況は早い速度で変化を続けています。このような様々な問題に対し、マエザワの豊富なノウハウと経験をもとにお客様のご要望にお応えし、高度なサービスを提供することで、持続可能な水インフラに貢献しています。

独自の研修制度で一人一人の成長を支援

当社は社員全員が安心して長く働ける環境作りに力を入れています。特に入社後の研修では、現場、現物、現実を重視した「三現主義」に基づき、聞く→見る→体験するという流れで業務を理解し、技術や知識を習得していただきます。

入社後約半年間は、前澤工業の工場における製品研修、処理場での現場研修、本社での製品講義や安全講習など、実践と座学を組み合わせた研修を行っています。この期間にマエザワの一員として最初の一歩を踏み出せるよう、教育担当が新入社員をサポートしています。

配属後も先輩社員によるＯＪＴを中心とした実践教育、更に並行して社外ツールを使用した自己学習プログラムを取り入れ、多面的な教育をしており、社員一人一人が成長できる環境を整えています。

先輩社員からのメッセージ

入社以来 5 年間上下水道用バルブやゲート、水処理機械の点検・修繕工事の施工管理を行っています。

自分で一から計画を立て、協力業者や他部署と連携して工事を終えた際には、自分の力で一つやり遂げたという達成感を感じます。また、仕事を通じて社会に貢献できているという実感が持てることがモチベーションに繋がっています。一方で機械が一つ止まると断水が起きてしまうこともあり、責任も重大です。

入社当初は覚えることが多く苦労しましたが、頼りになる上司や先輩がわからないことはしっかり教えてくれます。部署間のコミュニケーションも活発で、部署の域を超えたサポート体制が整っています。水インフラを通じて社会貢献したいという熱い思いを持った方と一緒に働けることを楽しみにしております。

株式会社 前澤エンジニアリングサービス

■問い合せ先

管理部 人財開発・採用課　採用担当　稲葉(いなば)・島田(しまだ)

TEL：048-255-1231　E-mail：mes_saiyou@maezawa.co.jp

転載禁止

日本水環境学会年会における学生会員向けの企画について
～産官学協力委員会～

日本水環境学会では、水環境分野の幅広い研究の発展と会員相互の情報交換を促進するため、毎年春に年会を開催しています。年会には毎年 1,400 人前後が参加し、600 件以上の研究発表が行われ、活発な議論が行われているほか、学生会員向けの企画として、民間企業や公的機関の若手技術者が水環境に関わる仕事の魅力などを学生に紹介する「水環境ビジネスガイダンス」、水環境分野への就職を希望する学生を対象とした「会員企業･研究機関等就職説明会」といったプログラムを実施しています。ここでは、それぞれの概要を紹介します。

水環境ビジネスガイダンス

本企画は、日本水環境学会年会に参加する学生を対象として、水環境に関わる仕事の第一線で活躍する技術者から、仕事の内容・やりがい等について、生の声を聴くことができるランチョンセミナーです。

「水環境ビジネスガイダンス～水環境の仕事に興味のある学生の皆さんへ～」をテーマに、個別企業の宣伝ではなく、水環境に関連する業界（公的機関、プラントエンジニアリング、コンサルティング、ゼネコン、化学品（膜を含む）、装置・分析機器の製造・販売等）の仕事について、経験を交えて紹介し、学生が水環境関連の仕事に興味を持つきっかけとしてもらうことを目的としています。

平成 19 年度より開催され、17 回目を迎える今回は、年会２日目に以下のとおり予定していますので、お気軽にご参加ください。

日　　時	2024 年 3 月 7 日㈭　12:20 ～ 13:20
会　　場	年会会場（A 会場）
参 加 費	無料（お弁当、お飲み物付き）
参加方法	現地受付にて参加チケットを配布します。

転載禁止

会員企業・研究機関等就職説明会

本説明会は、水環境分野への就職を希望する学生の皆さんを対象とした合同説明会です。日本水環境学会に所属する会員企業・研究機関等が直接説明を実施いたします。本説明会は日本水環境学会年会３日目の午後に現地での開催を予定しております。

本説明会は、すべての参加団体が１つの会場で会社概要を説明するショートプレゼンテーションと参加団体が個別に就職説明を行う各参加団体セッションの２部構成で実施します。ショートプレゼンテーションで水環境分野にどのような仕事があるか確認し、気になる団体のセッションに参加いただくことも、どちらかのみ参加いただくことも可能です。また、各参加団体セッションは30分間を３回実施しますので、複数の団体の話を聞くことも可能です。

本説明会は過去に５回実施され、いずれも多くの学生の皆さんに参加いただいており、「水に関連する企業が集中していて業界研究に役立った」、「水環境に関わる広い職種についての話を聞くことができた」、「各企業の様々な立場の方の話を聞けた」といった声が寄せられています。

比較的少人数での説明会となっていますので、採用担当の方から詳しい話を聞くことができるいい機会になるかと思います。是非、いろいろな企業・研究機関の話を聞き、水環境分野の様々な仕事について理解を深めてみてください。

本説明会は水環境に関する仕事に興味がある方であれば、来年度就職活動の対象外の方や非会員の方でも参加可能です。

＜実施概要＞

日　　時　：　2024年３月８日㈮12：20 ～ 15：00
　　１部　ショートプレゼンテーション　12：20 ～ 12：50
　　２部　各参加団体セッション　13：10 ～ 15：00
場　　所　：　九州大学伊都キャンパス センター２号館
参加団体　：　12団体（予定）
参 加 費　：　無料
事前申込　：　不要
※実施にかかる詳細は、学会HP等をご確認ください。

転載禁止

公益社団法人日本水環境学会　団体会員

（2024 年 1 月 1 日現在）

愛知県環境調査センター
アイデックスラボラトリーズ株式会社
青森県環境保健センター
株式会社秋田県分析化学センター
旭化成株式会社
アサヒグループエンジニアリング株式会社
アジレント・テクノロジー株式会社
石川県
いであ株式会社
茨城県霞ケ浦環境科学センター
茨城県企業局
岩手県環境保健研究センター
（公社）岩手県浄化槽協会
　岩手県浄化槽検査センター
株式会社ウエリントンラボラトリーズジャパン
宇部マテリアルズ株式会社
ABC プランニング株式会社
株式会社NJS
（独）エネルギー・金属鉱物資源機構
荏原実業株式会社
株式会社エンプラス研究所
大分市上下水道局
大阪市建設局
オリジナル設計株式会社
オルガノ株式会社
（公財）海洋生物環境研究所
花王株式会社
香川県環境保健研究センター
鹿島建設株式会社
（公財）河川財団
神奈川県企業庁企業局
神奈川県内広域水道企業団
川崎市環境局環境総合研究所
川崎市上下水道局
北九州市保健環境研究所
北里大学獣医学部　図書館
株式会社九州開発エンジニヤリング
京都市上下水道局
京都大学　桂図書館
協和機電工業株式会社
株式会社クボタ
熊本県保健環境科学研究所
栗田工業株式会社
株式会社コープクリーン
（公財）国際エメックスセンター
国土交通省東北地方整備局
　東北技術事務所
サーモフィッシャーサイエンティフィック株式会社
埼玉県環境部
埼玉県水質管理センター
（一財）佐賀県環境科学検査協会
札幌市下水道河川局
札幌市水道局
三機工業株式会社
（一社）　産業環境管理協会
サントリーグローバルイノベーションセンター株式会社
JFE アドバンテック株式会社
滋賀県琵琶湖環境科学研究センター
静岡県環境衛生科学研究所
株式会社神鋼環境ソリューション
（国研）水産研究・教育機構
　水産技術研究所
水道機工株式会社
水 ing株式会社
住友重機械エンバイロメント株式会社
（独）製品評価技術基盤機構
西部環境調査株式会社
積水化学工業株式会社
セントラル科学株式会社
株式会社ダイキアクシス
大成建設株式会社
株式会社ダイセル
ダイセン・メンブレン・システムズ株式会社
株式会社タクマ
千葉県企業局
株式会社中央設計技術研究所
月島 JFE アクアソリューション株式会社
（一財）電力中央研究所
　我孫子運営センター
東亜ディーケーケー株式会社
株式会社東京設計事務所
（公財）東京都環境公社
　東京都環境科学研究所
東京都下水道局
東京都下水道サービス株式会社
東京都健康安全研究センター
東芝インフラシステムズ株式会社
株式会社東洋環境分析センター
東レ株式会社
（一社）土壌環境センター
富山県環境科学センター
内藤環境管理株式会社
長崎県環境保健研究センター
名古屋市環境科学調査センター
奈良県景観・環境総合センター
株式会社西原環境
株式会社日水コン
日本製鉄株式会社
（公財）日本環境整備教育センター
（公社）日本下水道協会
日本下水道事業団
（公財）日本下水道新技術機構
日本水工設計株式会社
（公社）日本水道協会
日本石鹸洗剤工業会
国立研究開発法人
　農業・食品産業技術総合研究機構
配水用ポリエチレンパイプシステム協会
阪神水道企業団
ビーエルテック株式会社
株式会社日立製作所
日立造船株式会社
株式会社日立プラントサービス
（公財）ひょうご環境創造協会
兵庫県農政環境部
（一財）広島県環境保健協会
（公財）琵琶湖・淀川水質保全機構
福井県衛生環境研究センター
福岡市保健環境研究所
福島県環境創造センター
株式会社フジタ技術センター
株式会社フソウ
フナテック株式会社
前澤工業株式会社
三菱ケミカルアクア・ソリューションズ株式会社
三菱ケミカル株式会社
（公社）宮城県生活環境事業協会
宮城県保健環境センター
株式会社明電舎
メタウォーター株式会社
株式会社ヤクルト本社　中央研究所
（公財）山口県予防保健協会
　食品環境検査センター
株式会社ヤマト
横河電機株式会社
横浜市環境創造局
横浜市水道局
ライオン株式会社
ワセダ技研株式会社

マークの会員情報が掲載されています

転載禁止

公益社団法人日本水環境学会について

日本水環境学会は 1971 年に日本水質汚濁研究会として設立され、81 年の社団法人化、91 年の日本水環境学会への改称、2012 年の公益社団法人化を経て、現在に至っています。当学会は、水環境に関連する分野の学術的調査や研究、知識の普及、健全な水環境の保全と創造への寄与、学術・文化の発展への貢献を活動目的としており、学術雑誌の発刊、年会とシンポジウムの開催、各種表彰活動、英文学術雑誌の発行や国際会議などの開催、セミナーの開催などを行っています。2024 年 1 月現在の役員等は下記の通りです。

会　　長　池 道彦
副 会 長　亀屋 隆志　中島 典之　江口 正浩
常務理事　藤原 拓
理　　事　井坂 和一　市木 敦之　越後 信哉　大河内 由美子　岡部 聡
鎌田 素之　川上 智規　久場 隆広　栗栖 太　佐藤 久
佐野 大輔　清 和成　多川 正　田畑 彰久　中井 智司
西川 可穂子　見島 伊織　山口 太秀　山田 一裕　吉田 浩介

監　　事　井上 隆信　恩田 建介　渡邉 智秀
顧　　問　迫田 章義　古米 弘明　小野 芳朗　松井 佳彦　西嶋 渉

運営幹事　浅田 安廣　井口 晃徳　井上 大介　小熊 久美子　小野寺 崇
春日 郁朗　蒲池 一将　金田一 智規　鈴木 裕識　長谷部 吉昭
端 昭彦　羽深 昭　濱 武英　久本 祐資　日高 平
藤井 学　三宅 祐一　宮本 信一　矢吹 芳教　山村 寛
利谷 翔平　渡部 春奈

水環境企業・研究機関情報誌に関する本学内の問い合わせ

転載禁止

企画・発行　公益社団法人日本水環境学会
https://www.jswe.or.jp
〒135-0006 東京都江東区常盤2-9-7　グリーンプラザ深川常盤201
TEL 03（3632）5351 FAX 03（3632）5352

編集　株式会社日本水道新聞社

水環境企業・研究機関情報誌 2024 の文章・画像等の無断転載は禁止いたします